

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>

E-mail: [csc@renesas.com](mailto:csc@renesas.com)

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A625A/J	Rev.	第1版
題名	IrDA のビットレートについて		情報分類	技術情報	
適用製品	SH7720 グループ SH7721 グループ SH7705 グループ	対象ロット等  全ロット	関連資料	SH7720 ハードウェアマニュアル Rev2.00 (RJJ09B0027-0200) SH7705 ハードウェアマニュアル Rev2.00 (RJJ09B0075-0200)	

SH7720 グループ、SH7721 グループ及び、SH7705 グループの IrDA のビットレート推奨値についてご説明いたします。  
ご理解、ご了承いただきたくお願いいたします。

IrDA のビットレートは下記表の値となるように設定することを推奨いたします。

例えば、115.2kbps の転送レートの場合は、 $(Nb+1) : (Ni+1) = 2 : 1$  になるように設定して下さい。

SCIF モジュールと IrDA モジュールは非同期で動作していますが、 $(Nb+1) : (Ni+1) = 2 : 1$  にして頂くことにより、  
SCIF と IrDA が同期し、ビットレートの誤差が生じた場合にも、IR フレーム内の誤差は均一になります。

又、SCIMR のビット 2(PSEL)は、PSEL=1 にてご使用下さい。送受信を最適化できます。

表 PΦ=33.1776MHz の場合の設定例

Nb	Nb+1	B	Ni	Ni+1
17	18	115.2	8	9
35	36	57.6	8	9
53	54	38.4	8	9
107	108	19.2	8	9
215	216	9.6	8	9

\*1 Nb = SCIF のボーレート値 (SCBRR の SCBRD7~0)

\*2 Ni = IrDA のボーレート値 (SCIMR の ICK3~ICK0)

\*3 B = ビットレート (bits/s)